

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒個々の学びを深め進路実現を図る教育課程を編成し、学習意欲と学力を向上させる。</p> <p>②カリキュラム・マネジメントを推進し、協働的に課題発見・解決できるグローバルリーダーを育成する。</p> <p>③特別活動等を通して主体性、社会性、協働性、創造力等の育成を図る。</p>	<p>①指導と評価の一体化を推進し、生徒の学習意欲を向上させ、課題発見・解決能力を育成する。</p> <p>②学校行事や校外学習を通して企画力、社会性、協働性等を育成する。</p> <p>③総合的な探究の時間と各教科の連携を図り、外部資源を利用しながら課題解決能力の育成を図る。</p>	<p>①指導と評価についての研修を行い、年間指導計画及び単元と指導と評価の計画の作成並びに授業での実践に生かす。</p> <p>②各教育活動の目的等を適切に定め多角的に計画・実行する。</p> <p>③問いを立てる視点と教科横断的で多角的な視野を意識させることにより、総合的な探究の時間及び各教科の連携と授業改善を図る。</p>	<p>①指導と評価の一体化を意識した授業づくりを通して、生徒の学習意欲及び課題発見・解決能力は向上したか。</p> <p>②特別活動等において企画力、社会性、協働性を育成できたか。</p> <p>③課題解決に向けた生徒の意識は醸成できたか。</p>					
2 生徒指導・ 支援	<p>・生徒指導・支援の組織的取組を推進し、たくましく生きる力の育成を図る。</p>	<p>①学校生活をはじめ、社会との関わりの中で他者尊重の心や判断力及び行動力の伸長を育む教育活動を充実させる。</p> <p>②安心・安全で意欲的に学校生活を送れるよう、教育相談体制の充実を図る。</p>	<p>①授業や部活動、学校行事等を通して協働性を高め、適切な判断や主体的な行動がとれるよう自覚を促す。</p> <p>②積極的な情報共有と生徒個々の状況に応じたケース会議の開催などにより、学年団、SC、SSWとの連携を密にした体制を整え、組織的な生徒指導・教育相談を実施する。</p>	<p>①授業や部活動、学校行事等を通して主体的な取組ができたか。また、活動に充実感や自信を持つことができたか。(生徒による授業評価、学校生活アンケート)</p> <p>②状況に応じた会議の開催や組織的な対応ができたか。(担当者による評価)</p>					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	様々な教育活動をと おして、生徒が主体的に 進路目標を定め実現して いく力を育成する。	生徒の主体的な進路 実現に必要な情報の提示 や活動の支援を組織的 に行う。	①進路行事を時期や 内容を考慮し、効果的 に展開し、生徒の発達 段階に応じた情報の提 示や支援を行う。 ・年次団との連携を 強化し、生徒に必要な 進路情報や支援を行う。 ・教科指導とも連携 し、外部ツールをより 積極的に活用し、生徒 の学力定着を図る。 ②卒業生と未来を 語る会、学問を知るた めの講座などを通して 、生徒が生涯学び続け る意欲を涵養する。 ・進路行事後にキャ リアパスポート等を活 用し、生徒の変容を把 握する。	①進路行事の時期や 内容は進路実現に対し 、効果的であったか。 ②進路行事の後で、 生徒の進路実現に対し する意識や態度は変化 したか。					
4	地域等との協働	①教育資源を活用し、 未来社会を切り拓くた めの資質・能力を育成 する。 ②家庭、地域社会等と の連携・協働により、 持続可能な社会の創造 を図る。	①総合的な探究の時 間やグローバル行事等 で外部資源を活用する。 ②少しでもコロナ禍 以前の教育に還元でき る活動や支援をパート ナーズと連携して実現 を目指してゆく。	①総合的な探究の時 間のフィールドワーク やミニスタディツアー などの行事で外部との 連携を図る。 ②学校行事等にも積 極的に参加していただき 保護者や外部の支援を 信頼し、生徒が積極的 に活動できるようにす る。	①授業や行事を通し た外部資源の活用によ り、生徒の課題意識 を醸成できたか。 ②学校行事等でコロ ナ禍以前と比較し、保 護者や外部が来校でき るようになり、どのよ うな効果があったか。					
5	学校管理 学校運営	①社会の変化に対応 し、柔軟かつ迅速に教 育課題に取り組み、社 会に開かれた教育課程 の実現を目指す。 ②教育計画とのバラ ンスを図り、教員の働 き方改革を進める。	①学校運営協議会 の部会の活動の活性化 を図る。 ②ICT活用やホーム ページの充実と改善を 通して、学校およびパ ートナーズの活動の活 性化と私費の適切な還 元を進めるとともに今 後の年間教育計画を見 直す。	①ハイブリッド開 催など日程や方法の調 整を行い、社会状況に 合わせた開催を工夫す る。 ②オンライン授業の 保証や、懇談会密面 になりやすい場面の開 催方法を工夫するなど 、社会変化に応じた広 報および教育活動のも とに、行事の精選と私 費の活用の方を考察し てゆく。	①部会の活動を活性 化させ、社会に開かれ た学校作りが進んだ か。 ②ICTの活用をさら に進めることで、より 良い教育環境を作り 出して行けたか。					